

令和8年6月27日

潮江地区

地区別事前復興まちづくり計画 ワークショップ資料

目 次

第1回ワークショップの振り返り	P3
最終復興パターン（案）について	P8
最終地区の目指すべき姿＝ビジョン（案）について	P9
ワーク4：速やかに復興するために必要なことってな～に？	P11
ワークショップを終えて	P12

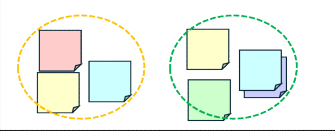
濟

コミュニティ計画のアンケート を活用

地区のいいところ・残したいもの
困っていること

Point 被災後の
「ビジョン=目指すべき姿」
へつなげる

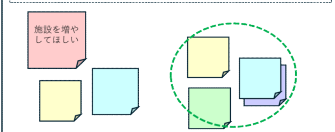
①地域のいいところ、残したいもの



楽しくなるような未来の まちを想像する

ゾーニングに対する意見を 引き出す

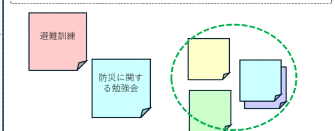
①楽しくなるような未来のまち



災害が起きる前から
できること

防災意識の向上
地域での防災活動の啓発

災害が起きる前からできること



目標

自分の地区の特徴を知ってもらい、
ゾーニングの意見をもらう

濟

第1回ワークショップ
(計40分)

- ・事前復興まちづくり計画の目的
- ・災害リスクと事業手法（5分）

- ・復興パターンの概要説明 (10分)

ワーク 2
(25分)

復興パターンについて感想

復興パターンに対する意見を述べてもらい
第2回目に修正案を提示

- ・まとめ

目標

復興ビジョンを取りまとめ、復興 パターンの意見をもらう

項目	2 第 2 期事業計画	
	1 第 2 期事業計画の概要	2 第 2 期事業計画の作成状況
ガイダンス	▲第 2 期事業計画の概要 ① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	▲第 2 期事業計画の概要 ① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要
法務事業	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要
グリーティング	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要
ディレクトリ	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要
事業計画	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要
個人負担	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要	① 事業計画の概要 ② 事業計画の概要 ③ 事業計画の概要 ④ 事業計画の概要

※注：建物や全壊の場合は異なります。

被災後、早急に復興が進められるように
復興パターン・土地利用の選択肢をあらかじめ用意しておく

被災後

次世代へバトンタッチ!!

被災状況に応じて復興パターン・土地利用を選択

第2回ワークショップ
(計40分)

- ・第1回ワークショップ振り返り

・アンケート結果の共有（コミュニティ計画策定会議）

(10分)

- ・最終案の提示

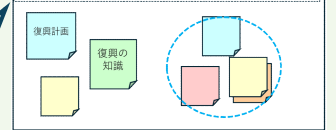
意見交換

—(30分)
(発表込み)

ワーク4 速やかに復興するために必要なこと

- ・被災後の自立再建を意識してもらう
- ・復興でのすべきことを知ってもらい復興中の活力につなげる

速やかに復興するために必要なこと



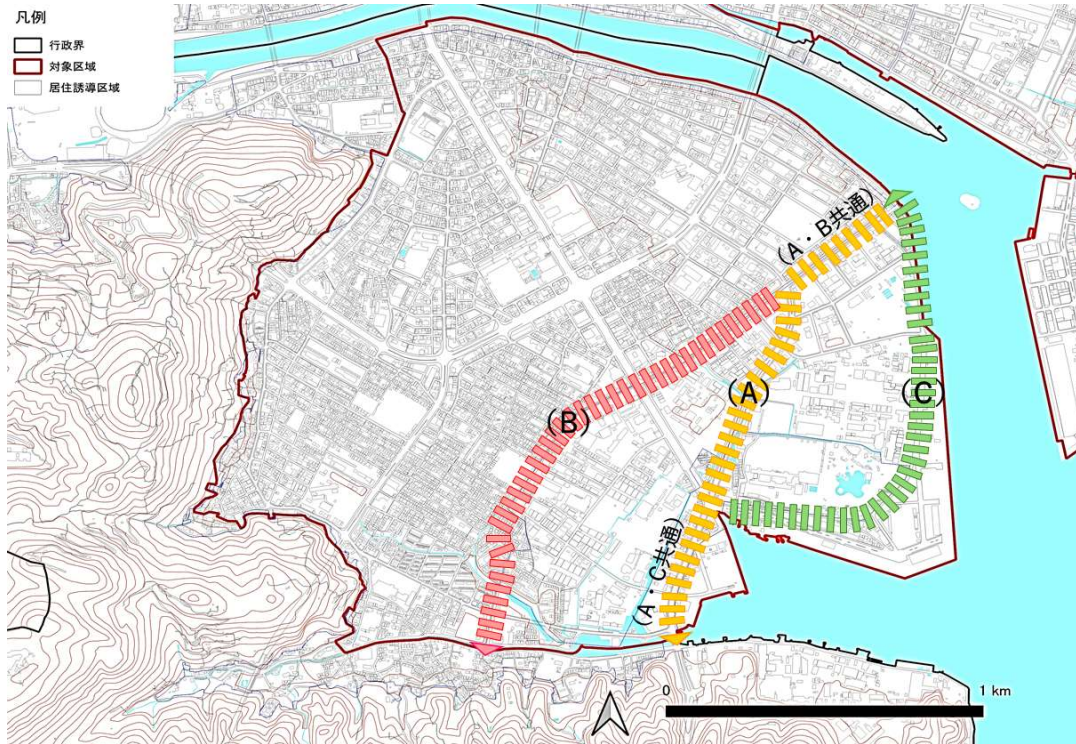
- ・まとめ

目標

復興パターン・ゾーニング図の取りまとめ

第1回ワークショップの振り返り

復興パターン案について意見を共有しましょう



(原案)
 (A) 新田町萩町一丁目線～
 潮新町線ルート

(内陸配置案)
 (B) 新田町萩町一丁目線～
 旧中堤～市道潮江6号
 線ルート

(沿岸部配置案)
 (C) 市道潮江355号線～県
 道～高知駅高知港線
 ルート

A案（原案）

- ・ A案は、B案よりも広範囲にまちを守れる。
- ・ C案よりも事業費が安く、期間も短いため生活の再建が早そう
- ・ 二線堤を境にコミュニティの分断が起こりそう
- ・ 既存の広い道路を活用するので、整備がしやすいのではないかな

B案（内陸配置案）

- ・ B案は費用や近くに住んでいる方への影響が大きくなりそう
- ・ 二線堤を境にコミュニティの分断が起こりそう
- ・ B案を行うなら、まちの機能を内陸部に集約したら住みやすくなりそう

C案（沿岸部配置案）

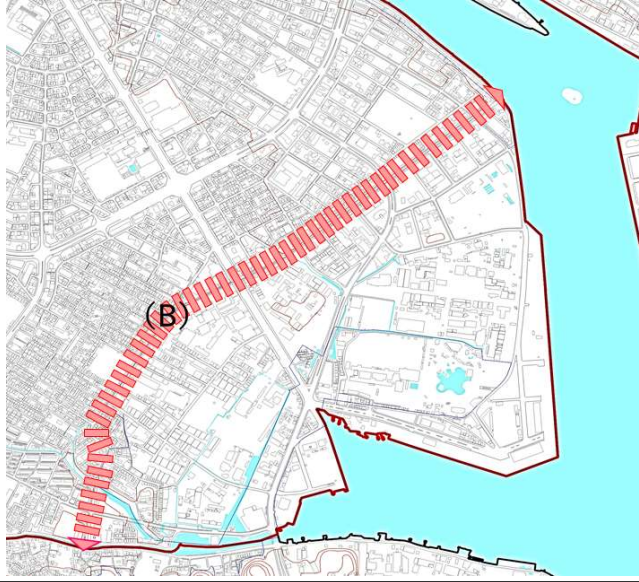
- ・ C案は潮江全体が守られて、みんなが安全に住み続けられる
- ・ C案は日当たりや景観が悪くなる心配がない

その他

- ・ 地盤沈降によっても、二線堤のルートが変わってくるのではないかな
- ・ 土地区画整理事業の際には、歩道も併せて整備してほしい
- ・ 国の補助金が入れば、事業費が安い案になるのではないかな

第1回ワークショップの振り返り

復興パターンについて意見を共有しましょう

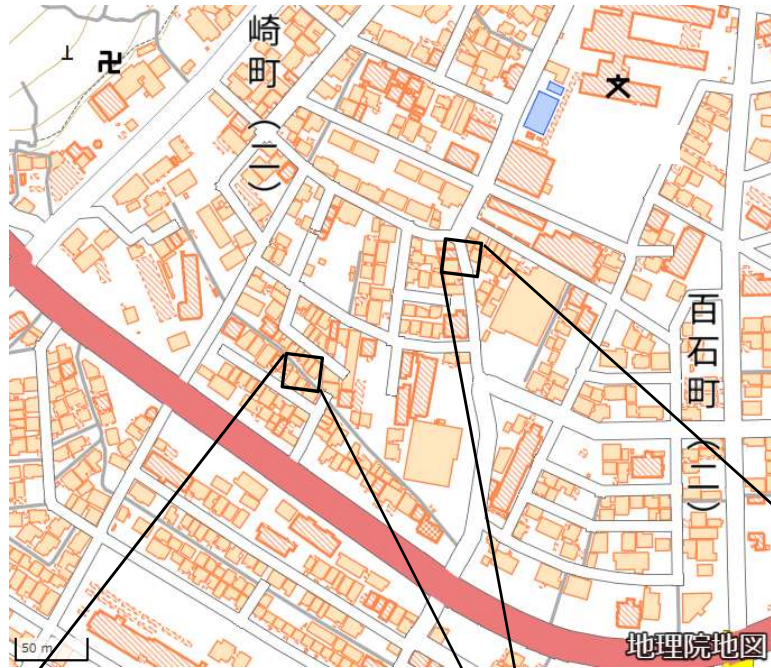
パターン	A案(原案)	B案(内陸部配置案)	C案(沿岸部配置案)
	新田町萩町一丁目線～潮新町線ルート	新田町萩町一丁目線～旧中堤～市道潮江6号線ルート	市道潮江355号線～県道～高知駅高知港線ルート
ポイント	・幹線道路中心に二線堤となる空間整備	・甚大な津波被害が想定される等復興事業が必要となる地区・区間を中心に整備	・臨海部に二線堤となる空間整備
			
評価	(○)	(△)	(▲)
	幹線道路を中心に整備を行い、多くの住居が存在する区域の津波に対する安全性も向上し、費用も3案で最も安価	被害が想定される地区と併せた整備を行い、効果的な復興に期待できるが、土地地区画整理事業を伴うため、合意形成等に課題もあり費用も高い	地区全体の津波安全性を高める効果は期待できるが、事業範囲の権利者等、関係者が多岐にわたり、合意形成や事業実施までの調整に時間を要する事が想定され、費用も最大。

その他意見回答について

復興パターンについて意見を共有しましょう

	意見まとめ	回答
にぎわい	にぎわい形成エリアはわんぱーく高知だけでいいのではないか	復興の際には、「わんぱーく高知」がにぎわい創出の拠点となると考えています。わんぱーく高知周辺だけでなく、高知港の活用も踏まえたエリアでの一体的な空間づくりを検討し、地域の価値をより高められることを想定しています。
土地・道路	百石町周辺の生活道路を広げると生活がしやすくなる	現地調査を行い、原案に新たに土地区画整理事業の範囲を追加しました。 次頁参照
津波対策	孕東町から仁井田の浦戸湾に津波の遡上を防止する対策をしてほしい。	津波防護対策については、高知港から浦戸湾にかけて湾口・外縁・内陸部の「三重防護」により浸入防止と被害軽減を図っています。国・県による検討会議では孕地区等への固定・可動式防波堤も検討しましたが、河川への影響（洪水リスク）や船舶航行、湾内環境への負荷等を総合的に考慮し、現在の計画となりました。今後も、堤防の耐震化や粘り強い構造への改良が着実に進むよう、県や国と緊密に連携を図り、市が担うソフト対策とあわせ、地域の安全・安心なまちづくりに取り組みます。
	C案の二線堤を孕東町まで伸ばしたらどうか	
自然	筆山に遊歩道を整備してほしい	筆山は一部民有地であり、その活用については復興時の状況に応じて判断いたします。活用方法に関するご意見として承ります。
事業手法	国の補助金を活用する場合は、事業費が安い案が選択されるのではないか	補助金を活用する場合であっても、単に事業費が安価な案が優先的に選択されるわけではありません。復興まちづくりは、被災された方々の「生活の再建」と「地域の安全性確保」が最も重要であり、復興の手法は、その土地の被害状況や地理的条件に加え、住民の皆様の意向を丁寧に聞き取った上で検討されるものとなります。それぞれの地区に最適な手法を選択することが、結果として将来にわたる持続可能なまちづくりにつながると考えております。
浸水被害	豪雨の際にポンプ等が機能しない場合、二線堤によって水が溜まるのではないか	災害時への対応としては、ハード及びソフト面による対策を進めており、ハード対策としては、施設の耐震・耐津波化対策として、建物破壊や津波の浸水を防ぐための改修工事等を進めています。ソフト対策としては、万が一機能が停止した場合に備え、緊急時における職員配備体制の構築、また、長期浸水の早期解消を目指し、堤防の止水対策を行う県との連絡対策の構築の取組等を進めています。 二線堤形成案では、津波に対する減衰効果を活かしつつ、内水氾濫のリスクも最小限に抑えられるよう、対応することになります。

百石町周辺の土地区画整理事業の追加



- 道幅の狭い生活道路で隣には水路も存在する。



- 道幅は4.0mは確保されているが、車同士のすれ違いは困難で、見通しが悪い。

復興パターンに関する意見

- 百石町周辺（塩屋崎町）の道路も広げてほしい

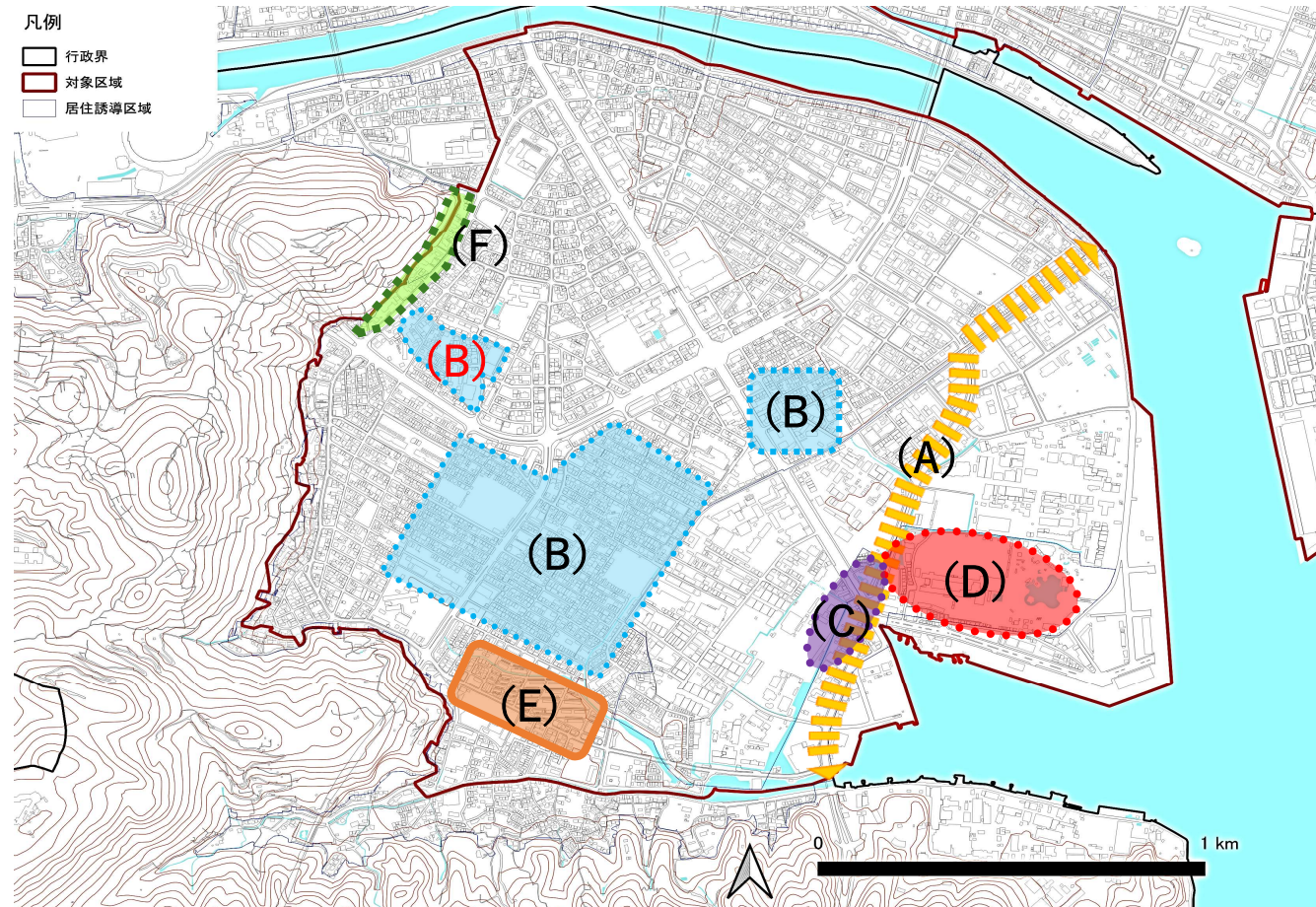
検討結果

概ね4m以上の道路幅があるものの、地区内には私道や道路幅2m程度の市道などが存在し、土地区画整理事業も未実施であり、道路の見通しも悪いなど交通や防災の面で課題がある状況です。
復興パターンとして新たに3.5haの範囲で土地区画整理事業の範囲を追加する。

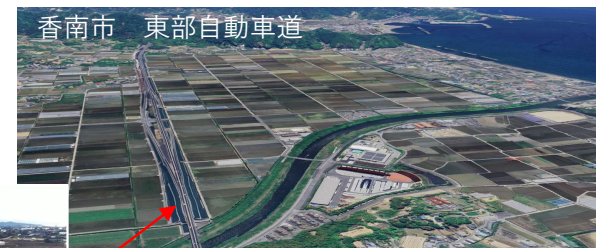


最終復興パターン（案）について

二線堤形成案



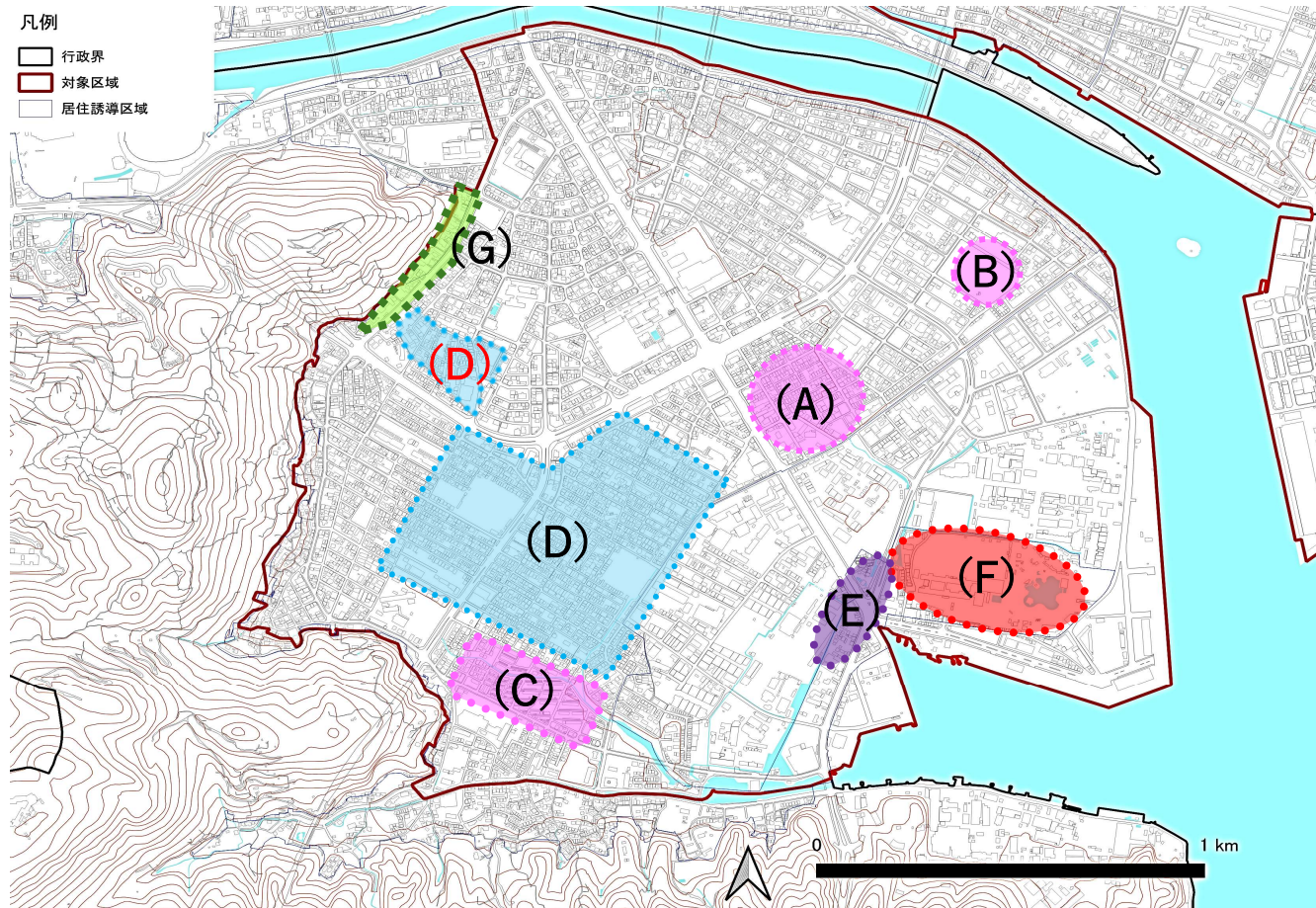
- (A) 二線堤（原案ルート）
- (B) 土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (B) 土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (C) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (D) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (E) 市営住宅有効利用
空き室の利用を検討する
- (F) 土砂災害対策



（二線堤イメージ）

最終復興パターン（案）について

防災拠点形成案



- (A) 防災拠点+嵩上げ（賑わい+居住）
共同化、再開発事業による高層化
- (B) 防災拠点（萩公園：高台整備）
津波避難機能の整備
- (C) 防災拠点（市営住宅有効利用）
空き室の利用を検討する
- (D) 嵩上げ+土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (D) 嵩上げ+土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (E) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (F) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (G) 土砂災害対策

(最終案)潮江地区 地区の目指すべき姿＝ビジョンについて

地域コミュニティ計画「アンケート」より

Q. あなたが思う潮江地域の「良いところ・魅力」

1. 交通の便（公共交通など**利便性が良い**）
2. 地域の繋がりが強い
3. **自然が豊かである** など



Q. 潮江地域が今後どうなってほしいと思いますか。

1. 災害に強く安全なまち
2. 生活環境・快適性の改善
3. 地域コミュニティの強化 など

Q. あなたが思う潮江地域の「課題・改善点」

1. 防災活動が弱い
2. 狭い生活道路が多い
3. 次世代との繋がりが希薄化している など



『絆を深め助け合い 暮らしやすさと安心を未来へ』

「いざという時に助け合える**人のつながり（絆）**こそが、復興には欠かせない」という熱い思いが多く寄せられました。また、身近な山々が「憩いの場」であると同時に、「命を守る避難所」でもあるという潮江ならではの強みも再確認できました。

ビジョンには、今の便利で豊かな暮らし（自然と利便性）を守りながら、住民同士が手を取り合う（**共助**）ことで、次の世代へ「**安心な潮江**」をしっかりと引き継いでいくという強い決意を込めました。

さあ、みんなで話し合ってみよう！

ワーク4：速やかに復興するために必要なことってな～に？

①住民ができること

例)

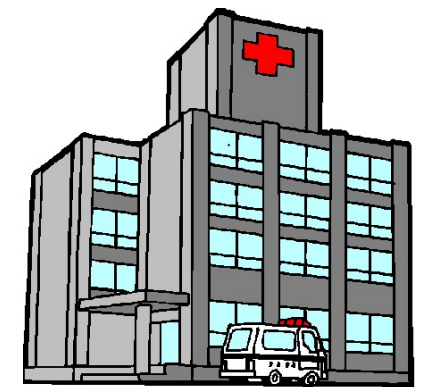
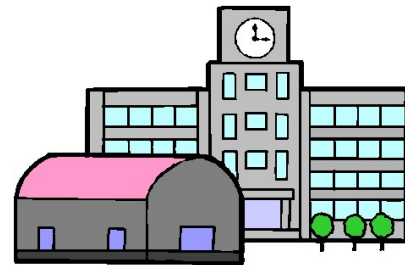
- ・ 自助・公助の意識向上
- ・ 再建の知識向上
- ・ 被害想定 of 把握
- ・ 復興計画の周知
- ・ 相続登記 など



②行政にしてほしいこと

例)

- ・ 公共施設の復旧
(ふれあいセンターなど)
- ・ 観光地を優先して復興
- ・ 商業施設への復旧のための補助金など



事前復興まちづくり計画ワークショップを終えて



皆さんに覚えておいてほしいこと

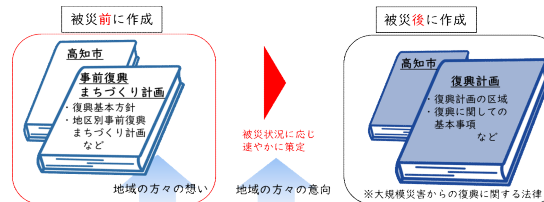
①「こんな潮江にしたい！」という未来像の共有



災害後は「早く元に戻りたい」と焦るあまり、災害前の地域課題までそのまま引き継いでしまいがちです。だからこそ、平時から「将来の潮江をどうしたいか」を共有しておくことが大切です。

今回話し合った「潮江の魅力」や「楽しくなる未来の姿」を取り戻したいという思いは、いざという時に皆さんの心を支え、より良いまちへ復興するための「**最大のエネルギー**」になります。

②復興の道しるべ



今回のワークショップでは、被災後のまちの姿を疑似体験し、皆さんで意見を交わしました。この「事前に話し合った経験」こそが、いざという時の迷いを減らし、速やかな復興へ向かうための強力な「**道しるべ**」になります。将来いつ来るかわからない地震に備え、今回皆さんと話し合った大切なご意見は、実際の「**潮江地区の復興計画**」へとしっかりと繋げていきます。

③未来の潮江を救う「地域でのつながり」

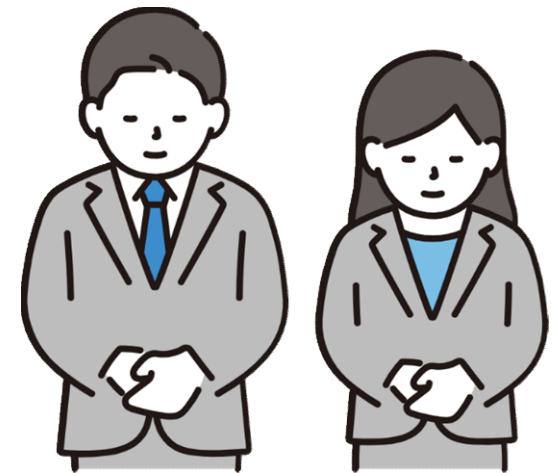


ハード面（建物や道路）の復旧も大事ですが、被災後、そして復興において最も大切なのは「**人とのつながり**」です。「事前復興」と聞くと難しい計画書を作るように思われがちですが、地域の孤立を防ぎ、住民主体で復興を進めるための究極の備えは、日々の挨拶やご近所づきあいにあります。

ワークショップが終わっても、今日ここで話し合ったことを大切に、地域の行事や防災訓練に顔を出すなど、「今日からできる小さな行動」が、未来の潮江を救う大きな力になります。

事前復興まちづくり計画ワークショップを終えて

お忙しいところ事前復興まちづくり計画ワークショップにご参加いただきありがとうございました。



皆様からいただいた意見をもとに作成した「地区別事前復興まちづくり計画」は防災政策課ホームページに掲載されますのでよろしくお願いいたします。